

船舶事故等調査報告書

平成21年1月29日
運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2008横第31号	
事故等名	貨物船第五春日丸乗揚	
発生年月日	平成20年8月26日 07時00分ごろ	
発生場所	千葉港コスモ石油シーバース灯から真方位280° 870m (北緯35° 32'、東経140° 03')	
事故等調査の経過	調査の概要:平成20年10月9日 横浜・地方事故調査官が海難報告書を精査し、船舶管理会社から損傷状況等について文書入手 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
認定した事実 船種・船名・総トン数 船舶番号(IMO 番号) 船舶所有者等	貨物船 第五春日丸 498トン 130943 株式会社ハマダ	
船種・船名・総トン数 船舶番号(IMO 番号) 船舶所有者等		
乗組員等に関する情報	船長 四級海技士(航海)	
負傷者	負傷者 なし	
損傷	船底に5cm×10cmの破口	
事故等の経過	本船は、乗組員4名が乗り組み、空船のまま、京浜港横浜区を発し、千葉港千葉区五井南海岸に着岸作業中、平成20年8月26日07時00分ごろ、船底に衝撃があり、係留作業終了後直ちに船内を点検したところ、機関室内の船底外板に破孔を発見したため、浸水防止措置を講じるとともに排水作業を行った。 船底外板の損傷については修理済。 気象・海象は平穏で、ほぼ低潮時であった。	
事実を認定した理由	気象・海象の関与 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 判明した事項の解析	なし あり なし 本船が、着岸時の操船を適切に行わなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が着岸時の操船を適切に行わなかったため、海底に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	
その他の事項	なし	